

平成17年2月23日
高圧ガスLNG協会

LNG受入時における不純物分析の要否について

LNG売買契約には腐食に影響を与える不純物の規定はない。

液化基地では安定したLNG製造をするために、天然ガス中の腐食に影響を与える不純物を除去する設備を、全てのプラントで設置している。

除去設備の除去性能は

水分で 1 ppm

水銀で 10 ng/Nm³

除去設備の性能が保たれていれば、受入基地設備に腐食は発生しない。

万が一除去設備に異常があっても製造工程で不純物は物理的に除去される(水分で6 ppm、水銀で100 ng/Nm³程度)ので受け入れ基地設備に腐食は発生しない。

過去30年以上、LNGタンカー、受入基地での腐食が報告された例はない。

以上のことから、不純物濃度を契約上に規定する必要はなく、また、受入基地で不純物分析をする必要はない。

以 上